

# うらやま市新聞

うらやま市  
広報課

## 温暖化による影響深刻化

### 観光2課澤部職員試験採用決定

環境省が中心となって行っている環境対策を目的とした衣服の軽装化キャンペーン、「クールビズ」。近年は更なる気温上昇に伴い、「スーパークールビズ」という形で進化を遂げているが、この度、北関東に位置しながら、地形の影響から冬はカラフト並に寒く、夏になると沖縄レベルの気温を記録するうらやま市で、軽装化の限界を追求した「ハイパークールビズ」が採用される見通しとなった。正式採用に先立ち、今月より、うらやま市役所観光2課の澤部佑職員をモデルに試験採用がスタートする。澤部職員は、先の館山市視察の際にもうらやま市タオルのみでシェノーケリングに挑む等、暑がりエピソードに事欠かず、また毎年梅雨時になると澤部職員の周辺から納豆に似た臭い

が発せられるとの苦情が生活課に数多く寄せられていたこともあり、試験採用のモデルへの抜擢となった。「ハイパークールビズ」本

格導入によって、澤部職員の大量の発汗が原因と推測される納豆風臭い問題の解決も期待されている。

# うらやま市ハイパークールビズ採用へ

試験対象者に選ばれた澤部職員



試験対象者に選ばれた澤部職員

### 人事課岩井職員ドーピングが発覚



岩井勇気職員 (26)

5月5日の子供の日に開催された「第5回うらやま市菜の花マラソン大会」で2年連続優勝を飾った、うらやま市役所人事課に勤務する岩井勇気職員だが、大会後に行われたドーピング検査で陽性となり、うらやま大学での血液検査の結果、正式にドーピング違反と認定され、記録が取り消しとなった。岩井職員もドーピングの事実を認めており、「プレッシャーに負けた。でも後悔はしていない」とコメントを発表している。マラソン大会の結果は、2位だったうらやま市役所

陸上部の田中卓志職員(観光2課)の繰り上げ優勝と訂正される見通し。

### 総務課山根職員 係長返り咲き

夜道で変質者と間違われる、うっかりスーパーのカゴを持ったまま店を出てしまふ等、再三に渡って警察に通報され、係長降格処分となっていた総務課山根職員が、痴漢を取り押さえるお手柄をあげ、うらやま警察から表彰を受けた。市役所人事課も山根職員の正義感あふれる行動を高く評価、緊急会議で山根職員の係長返り咲きが決まった。



山根良顕職員 (36)

### 姉妹都市提携ニューヨークに断られる

うらやま市役所が進めてきた、ニューヨークとの姉妹都市提携プロジェクトが失敗に終わった。これまでは主に手紙でラブコールを送ってきたが、一向に返事がないため、電話で提携を申し込んだ所、ニューヨーク側の返答は、「ごめんなさい」。職員のうちニューヨークに行ったことなかった点など、今回の反省を生かして、うらやま市役所は新体制を組織。20年以内の姉妹都市提携を目指してプロジェクトを継続する方針。